

防災マイスター

阪神北地域の防災・減災のために
市民の意識・知識を高め
情報収集や発信活動を行う



昨年度の活動

1 コロナ禍における避難所運営ゲーム (HUG) を実施
メンバー全員で、感染症対策を注意深く取り入れ実施

2 防災講演会実施

「災害時代における地域コミュニティの在り方」

講師 室崎 益輝 (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 科長)

「実践! 家庭の防災術」

講師 室崎 友輔 (地域防災プランナー・防災士、NPO法人兵庫県防災士会理事 (神戸エリア担当)、減災環境デザイン室代表)

震災の写真展示と障害者就労施設で作られた生製品の販売ブースの出店

防災講習会の会場にて

今年度の活動

1 避難カード作成

災害の危険が迫っている時に、「だれと」「どこへ」「どのように」避難するかを予め家族で確認、財布等に入れておき、いざという時の避難行動に役立つためのカードです。

2 防災ノート作成

大きな災害に備えて!

家具の転倒防止・脱出経路確保・備蓄品・非常持出品・安否確認・避難場所確認・隣近所への呼びかけ・避難時のために玄関内に置く避難先表示等をまとめたノートです。

3 「家族で学ぶ! 親子防災講習会 (地震編)」実施

講師: イタミライフキーパー代表 宮崎 涼二 (防災士・応急手当普及員)

『助けられる人から、助ける人になる』をサブテーマとして分かりやすく講習



カードサイズの避難カード



グループ会議

実践活動 防災講習会

日時: 令和3年12月5日 (日)

場所: 宝塚市立中央公民館 ホール

『家族で学ぶ! 親子防災講習会』

入室段階からコロナ対策を厳重にして、家族単位でシートに分かれて実施しました。

講習会の趣旨である「児童と親の防災」を専門とする宮崎講師の分かりやすいクイズやゲーム形式でリラックスした雰囲気の中で実施しました。講師の問いに児童たちは元気に対応しており、効果的な防災講習となりました。



受付



会場



ランタン作り

PETボトルと紙コップ
を使ってランタンを作
りました。



イタミライフキーパー 宮崎代表

実践活動 避難カードと防災ノート

阪神北地域は地震・水害・土砂災害についての備えが重要であると考えています。避難時に重要な情報をコンパクトにまとめた「避難カード」とこれに関連した重点事項をまとめた「防災ノート」を作成しています。それらを各市町の危機管理部門等に配布し、災害への備えと避難時の安全確保を提案します。



避難カード



防災ノート

■防災の研修

国際的に著名な「人と防災未来センター」は、阪神・淡路大震災の貴重な情報が保管され、公開されています。「忘」の文字に込めた思いの研修を実施する予定です。
(3月予定)

2年間を振り返って

兵庫県は1995年に阪神・淡路大震災を経験し、その後も続く自然災害に対して行政・民間共に防災・減災に注目し、歴代のビジョン委員会も同様の活動をしてきました。自然災害は範囲が広く、規模や様相が大きく異なる中、10期の委員としては、防災士を含むメンバーで広範囲な視野で活動を開始しました。

コロナ禍にあり、当初オンラインと対面会議で開始し、1年目はHUG研修と室崎親子による講演会を行いました。2年目は「防災マイスター」とグループ名や方針を変え、災害時に役立つ「避難カード」「防災ノート」の作成、防災講習会を中心に活動を開始しました。防災マイスターの活動を通して市民の方々に防災・減災に対する意識や知識を伝えることができ、有意義な活動ができたと思います。